

雄新中 図書館だより

NO. 10 平成21年 2月

雄新中図書館



3学期も残り少なくなってきました。皆さんにとってこの一年間はどのように心に残っているのでしょうか。興味ある本に出会えたのでしょうか。雄新中学校の図書館には皆さんにおすすめの本がたくさんあります。自分が興味を持ってそうな本を探してみませんか。

自分が感動したり、おもしろかったり、気に入ったりした本があれば、ぜひ友達に紹介してください。きっと読書の幅が広がり、いろいろな本に出会えるきっかけになるはずです。心に残る1冊に出会うチャンスが増えることでしょう。



《 知っていますか 》

直木賞受賞は 松山出身の^{てんどうあらた}天童荒太氏 愛媛県人初受賞！

新聞・雑誌あるいは単行本として発表された短編および長編の大衆文芸作品の中で最も優秀なるものに呈するのが直木賞（直木三十五賞）です。多くの優秀文学作品を生み出したプロ作家に贈られることが多いようです。

第140回 2009年下半期の受賞作品は 天童荒太 「^{いた}悼む人」

山本兼一 「^{りきゅう}利休にたずねよ」

の2作品が選ばれました。天童荒太氏は松山北高校出身の48歳。直木賞受賞により2月17日には「かがやき松山大賞」「愛媛県文化・スポーツ賞」を受賞しました。また、直木賞の贈呈式は2月20日に東京で行われます。

受賞作「悼む人」について天童荒太氏は「人の死を悼むことは大切なことで悼むことを通して生きていくことの尊さを伝えたかった」と語っています。

※悼（いた）むとは、人の死を悲しみ嘆くこと。「大辞泉」より
「悼む人」：雄新中未入荷本

《 本校の蔵書より紹介 》「包帯クラブ」 天童荒太著 筑摩書房



天童荒太氏が若い人向けに書いた小説。中学生から読める。「包帯クラブ」とは、高校生4人が心の傷をおった場所に白い包帯を巻くことで、人々の気持ちをいやしてあげたいと立ち上げたクラブ。だが、包帯を巻くことが次第に社会で問題になってしまう。人には皆、それぞれに心の傷があることをわかってほしい。2007年には映画化された。

《 今、注目の中高生向きミステリー 》

理論社の【ミステリーYA!】はいろいろな分野（ホラー・ファンタジー・SF など）の小説が楽しめる新しい中高生向きの本格ミステリーシリーズですが、作家陣も一流の方々が多く、広く大人にまで読まれています。本校の日本文学の書棚にミステリーYA!コーナーを作りました。本の背に小さな赤丸シールが貼ってあります。このシリーズは貸し出していますので、ゆっくりとミステリーを楽しんではいかがでしょうか？



倒立する塔の殺人 皆川博子 著 理論社

少女たちの間では、小説の回し書きが流行していた。ノートに出会ったものは続きを書き継ぐ。手から手へと、物語はめぐり、思いもめぐる。やがてひとりの少女の不思議な死をきっかけに物語は驚くべき結末を迎える。

1 2月に入った新しい本の一部を紹介（書名・著者・出版社の順）

10代をよりよく生きる読書案内	こやま峰子	東京書籍
いっちゃん	畠中 恵	新潮社
林檎と蛇のゲーム	森川楓子	宝島社
透明人間のくつ下	アレックス・シアラー	竹書房
風のガーデン	倉本聡	理論社
ノルウェイの森	村上春樹	講談社
きのうの世界	恩田陸	講談社
ハッピーフライト	矢口史靖	メディアファクトリー
コード・ブルー ドクターヘリ緊急救命	林宏司	扶桑社
コンビニ弁当16万キロの旅	千葉 保監修	太郎次郎エディタス
こころ飛ぶ、いのち駆ける。	池田まき子	主婦と生活社

貸し出しは一人2冊まで。期間は原則1週間です。